

# 22\_ドライバ評価手法検討部門委員会

扱っている技術テーマ: ドライビングシミュレータ、生体計測/運転心理、ドライバ状態、タスク負荷、疲労/負担、ディストラクション、ワークロード、感性/視覚/視認性、HMI、運転行動

技術課題 大目標	理論 目標	具体的 技術目標	2017	2030	2050
Safety	ヒューマンエラーの未然防止	ヒューマンエラーのモデル化、ドライバモニタリング技術、状況認知	覚醒、ディストラクション、認知状態、運転能力などの評価手法 高齢者対応、個人差 ドライビングシミュレータの高度化	予測評価手法	リカバリー技術
	ドライバに受容される自動運転の実現	システムの過信・依存に対するドライバのモデル ドライバ意図の自動運転への応用	監視状態評価手法 認知行動シミュレーション ドライバ意図の評価手法	権限移譲法技術の確立	意図伝達技術 (BMI, BCI)
快適性	快適な車内空間	ドライバ状態リアルタイム完全理解	快・不快の評価手法	不快の抑制技術	快の誘導技術
		理解しやすい情報の提示法の確立	情報負荷の運転への影響評価手法	ドライバ状況適合型提示技術	情報統合化技術
Pleasure	ドライバの個人特性に適合した運転の演出(脱コモディティ)	運転行動や個人特性の多様性の指標化と制御方法	商品魅力にかかわる人間特性、感性の評価手法	個人適合した車両設計技術	
低燃費 (省エネ)	環境負荷低減	カーシェアリング	ドライバ行動の評価手法 運転技能の評価手法 ビッグデータ活用	ユーザーの要求心理に基づいたサービス提供	AIに基づくサービスの知能化
		電動化車両	EV、パーソナルモビリティの操作系の評価手法	動特性とリンクした理想的操作系	